

平成24年度 特定非営利活動法人そよかぜねっと
やすらぎ工房 事業報告

1 理事会・総会開催状況

- (1) 第1回理事会 平成24年5月15日(火)
①報告事項 平成23年度会計決算報告、平成23年度事業報告
②審議事項 平成24年度事業計画、理事監事の選任
- (2) 第2回理事会 平成24年6月8日(金)
①報告事項 平成24年度4～5月度会計報告、平成23年度監事監査報告、人事異動報告、
②審議事項 平成24年度通常総会議案書、平成24年度夏季賞与の支給、施設長(高齢者)の雇用条件
- (3) 第3回理事会 平成24年6月27日(水)
理事長、副理事長の選任
- (4) 通常総会 平成24年6月27日(水)
①審議事項 平成23年度事業報告、平成23年度収支決算報告・会計監査報告、定款変更、理事監事選任、
- (5) 第4回理事会 平成24年10月11日(木)
①報告事項 支援員の人事、正規職員の給与格付け、職員夏季賞与の支給、やすらぎ工房の利用現況、苦情解決責任者の任命、会計報告(上半期)
②審議事項 サービス管理責任者の後任対策、旧名和邸の活用策、利用者の確保方策
- (6) 第5回理事会 平成25年3月5日(火)
①報告事項 職員冬季賞与の支給、職員の昇格人事、やすらぎ工房の利用現況、会計報告、
②審議事項 サービス管理責任者の採用、旧名和邸の活用策、利用者遺族からの不動産の寄付申出に係る取り扱い、年休の時間単位付与に係る就業規則の改正、やすらぎ工房建物に係る使用貸借契約の更新、

2 やすらぎ工房の利用状況

(1) 就労をめざすための場づくり

①施設内作業

ア年間利用状況(括弧内は23年度)

開所日数	利用者数	一日平均	給付金収入
241日	3,141人	13.0人	21,277,223円
(239日)	(3,460人)	(14.5人)	(22,710,560円)

年度当初在籍人員 (24・4・1)	年度内異動状況		年度末在籍人員 (25・3・31)
	利用開始	利用終了	
23	3	2	24

※利用実人員を示す

※利用終了者の内訳 死亡1、 B型事業所移行1

利用者の障害・疾患名 (H25・3・31現在)

	統合失調症	躁うつ病	高次脳機能障害	その他	計
男	13	3	2	3	21
女	1	0	0	2	3
計	14	3	2	5	24

イ作業内容

自動車金属部品の組立・検品、コーンバーの組立（シール巻き、ビス留め）紙袋の底入れ・折り・のり付け、地域広場の清掃、バザー販売、ワークルーム虹における作業（別掲）

ウ工賃の支給状況（年間平均・個人別）

（単位：円）

～5,000	5,001～10,000	10,001～15,000	15,001～20,000
18人	4人	2人	4人

※1人当たり年間平均 6,877円

エ工賃単価（時給）

コーンバー	自動車部品組立・検品	紙袋加工	納品
シール巻150円 ビス留め200円	150円	150円	250円

（参考）兵庫県最低賃金 749円

②施設外就労（ワークルーム虹）

三木市役所内の作業所において市から軽作業を受託し、就労に向けてのスキルアップ（集中力、持続力、コミュニケーション能力等）や自分の適性を見直す機会をもつことを目的としている。

- ・週2回（水・木曜日）10:00～15:00の間、4名程度のメンバーと職員2名が作業に従事、 延利用人員356人、 工賃～時給350円
- ・作業内容 ⇒ 印刷、紙折、封入・封緘等の事務作業、屋外公共施設の除草作業

- ・利用要件 ⇒ やすらぎ工房利用開始3ヶ月経過していること、利用基準項目を満たしていること、本人が希望していること

③就労希望者への支援

本年は、1名のメンバーが就労したが、就労にあたっては、ハローワーク、就業・生活支援センター、市相談支援センターなど関係機関と緊密な連携を図りながら支援に努めた。就労にあたって、きめ細かな支援が必要となる精神障がい者にとって、その心の支え的な役割が特に当施設に求められたところでもある。

(2) 安心して過ごせるための場づくり

①個別支援計画に基づく支援

- ・個別支援計画 ⇒ 利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援するうえでの適切な支援内容の検討（概ね6ヶ月に1回）
- ・支援計画作成のサイクル ⇒ 個別支援計画の作成←モニタリング（計画の実施状況の把握）←個別支援計画の作成←アセスメントの実施
※アセスメント（利用者の能力、環境及び日常生活の状況の評価、利用者の希望する生活や課題等の把握）
- ・計画作成責任者 ⇒ サービス管理責任者（4～9月門脇深雪、1～3月宮本昭男）

○24年度の個別支援計画作成状況

- ・作成人員 24人、作成計画数 35

②いつでも相談が受けられる体制

メンバーが日々直面している不安や緊張、恐怖などを和らげるために個々の職員が、まずは話を聞き、受け止めることを中心に、原則、開所時間内はいつでも対応できるよう努めるとともに、職員が受けた相談事項は、職員全体で、その方向性について協議し共有することとしている。

③苦情受付と解決の体制

- ・苦情解決体制
苦情受付担当者（主任・北上亜矢子）⇒ 苦情解決責任者（4～9月サービス管理責任者・門脇深雪、10～3月管理者・宮本昭男）
- ・第三者委員 赤松敬一様
- ・24年度苦情受付状況 1件

(3) 主体的に活動できる場づくり

①事業所内での活動支援

毎月1回、メンバーの主体的な参画による「メンバーミーティング」を実施し、毎月のレクリエーションや行事の企画及び具体的な実施の方法などを協議するなどメンバーの自主的活動を支援した。

②レクリエーション活動への支援

毎月2回、金曜日の午後をレクリエーションの日と定め、メンバーにホットケーキ、手巻きずしづくりなどの調理実習、バレーボール、野球、映画鑑賞会などのレクリエーションを楽しんでもらい、職員は、専ら、その後方支援に努めた。

③地域行事への参加

地域交流及び社会参加の一環として昨年度は、メンバーとともに、次の地域行事に参加し交流を深めた。

北部ブロック作業所合同運動会（10/4）、三木市市障害者スポーツ大会（10/20）、緑が丘公民館文化祭（10/27）、青山公民館文化祭（11/11）、障害者週間作品展、（12/3～7）ファミリーフェスティバル（1/12）、

(4) 地域への啓発活動

地域社会の中で、精神障がい者への理解を深めるべく前年度に引き続き次のような取組みを実施した。

① サンサン広場の清掃活動

啓発活動一環として、毎月1回、緑が丘駅前サンロード商店街に隣接する「サンサン広場」の清掃をメンバーと職員が実施した。

② イエローレシートキャンペーンへの参加

イオンが地域貢献活動の一環として実施しているキャンペーンに職員とメンバーが参加し「やすらぎ工房」をPRするとともに、併せて精神障がい者への理解を求めた。

③「そよかぜねっと通信」の発行・配布

当法人の機関紙である「そよかぜねっと通信」を本年度は2回発行、精神障がい者の医療・福祉をめぐる情勢を伝えるとともに、メンバーの生の声を掲載するなど精神障がい者への理解を訴えた。

④「やすらぎニュース」の発行・配布

主として「やすらぎ工房」の行事、レクリエーションなど、ホットなニュースを伝えるなど、地域住民の方に理解を深めていただくべく今年度12回発行した。

⑤ホームページ開設の準備

かねてからの念願であった「やすらぎ工房」のホームページを開設すべく、今年度準備をすすめ、新年度当初開設の運びとなった。

(5) 支援のための体制づくり

①職員体制の確立及び充実

ア職員配置基準（指定就労継続支援B型事業所の設備及び運営の基準）

- ・管理者 1（兼任可）
- ・職業指導員及び生活支援員の総数 ⇒ 利用者10人に1人以上（常勤換算）
職業指導員1人以上、生活支援員1人以上
- ・サービス管理責任者
利用者の数が60人以下 ⇒ 1以上（常勤）

イ職員配置と異動状況

○平成24年4月1日

施設長（1・非常勤）－ 副施設長（1・常勤）－ 事務員（1）非常勤1
（サービス管理責任者） 生活支援員（4）常勤3、非常勤1
職業指導員（1）常勤1

○平成25年3月31日

施設長（1・常勤・サービス管理責任者）－ 事務員（1）非常勤1
生活支援員（3）常勤2、非常勤1
職業指導員（2）常勤1、非常勤1

○24年度異動状況

- ・退職 ⇒ 施設長1（6/30付）、副施設長1（9/30付）、生活支援員1（10/30付）
- ・採用 ⇒ 施設長1（7/1付）、生活支援員1（10/1付）
- ・主任への昇格 ⇒ 生活支援員 北上亜矢子

②職員研修の実施状況

- ・H24・5・31 ほのぼの会研修会 参加者：上原 三木市保健福祉センター
- ・H24・10・1 新規採用職員研修 参加者：犬飼 やすらぎ工房
- ・H24・12・19 北播磨地区精神保健福祉研修会
参加者：宮本 西脇市福祉センター
- ・H24・12・18 北播磨地域自立支援協議会研修会
参加者：北上 小野市うるおい交流館
- ・H25・1・26 成年後見制度研修会 参加者：犬飼 三木市保健福祉センター

- ・ H25・2・27 三木精愛園セミナー 参加者：柴田、岡本 協同学苑
「企業が考える障害者雇用の課題」
- ・ H25・3・22 北部ブロック作業所職員研修会
参加者：犬飼 篠山健康福祉センター
- ・ H25・3・22 発達障害と就労セミナー 参加者：白髭 西脇市生涯学習センター

(6) ボランティアの受け入れ

やすらぎ工房内の各種行事支援のために本年度は13名のボランティアを受け入れた。

(7) 経営基盤の安定化

①利用者の確保による収入増

- ・ 確保のための病院訪問

雄岡病院 (11/12)、神出病院 (11/15) 関西青少年サナトリウム (11/21)、
白鷺サナトリウム (11/21)、垂水病院 (11/30)、羽賀神経内科医院 (11/30)、
山元神経クリニック (12/14)、加茂病院 (1/29)

②建物の管理、活用

ア旧名和邸の活用

- ・ 賃貸借契約の締結

相手先⇒合同会社アングルーポイントアート (障害福祉サービス事業者)

賃料⇒月額3万円

契約開始年月日⇒平成25年4月1日

イ旧緑ヶ丘ガス事業所管理棟 (やすらぎ工房) 建物使用貸借契約